

逗子市消防本部 消防ポンプ自動車仕様書

1 総 則

本仕様書は、令和8年度に逗子市が購入するCD-I型消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に関する必要な事項を定め、火災等の災害に必要な装備及び資機材を設け、災害時における諸活動を迅速的確に行える構造とし、諸構造は堅牢で耐久性に富むものとする。なお、公害対策として最新の排ガス規制に適合した低公害車両とすること。

2 法令適合

道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

また、各構造は日本消防検定協会が示す「消防用車両の安全基準について（消防ポンプ自動車編）」に適合するものであるとともに、その他各種関係法令等に適合するものであること。なお、車体は常時、登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであり、積載物等について発注者と十分に協議を行い、車両総重量を超過する過積載状態とならないものであること。

3 提出書類

(1) 契約時

製作に先立ち、次の書類を速やかに提出すること。

ア 承認図書（消防本部の承認を得ること。）	各3部
(ア) 外観図・内観図	
(イ) ポンプ系統配管図	
(ウ) 消費電力計算表	
(エ) 電気配線図	
(オ) 製作工程表	
イ その他必要図書	必要数

(2) 納入時

ア 外観完成5面図	2部
イ ポンプ性能表	2部
ウ 検定協会の検定済証の写し	2部
エ 取扱説明書	2部
オ 製作工程別記録写真集(カラー・各試験工程含む)	1部
カ その他必要図書(車両重量図等)	必要数

4 検査及び保証等（検査は中間・完成の各検査及び検収とする。）

- (1) 中間検査は、製作工程表に基づき実施する。（部品検査含む）
- (2) 完成検査は、本仕様に基づき艤装全般、走行及びその他の検査を実施する。
- (3) 検収は、本仕様書及び承認図書に基づき総合的な検収を実施する。
- (4) 保証期間は、納入後1年とする。ただし、保証期間が1年以上有するものはこの限りではない。また、期間経過後であっても設計、製作、材質等の不良に起因した不具合については受注者において無償にて修復すること。

5 仕様明細

別添仕様明細書のとおり。

6 納 車

逗子市消防本部 逗子市桜山2丁目3番31号

7 納入期限

令和9年3月31日(水)

8 配 置

逗子市消防本部 逗子市桜山2丁目3番31号

9 その他

- (1) 製作に当たり、疑義が生じたときは、直ちに消防本部と協議のうえ、適正を図ること。
- (2) 検査時、不適合として指摘された箇所及び部品については、直ちに無償で取り替え又は改修すること。
- (3) 取付品等は、軽量化されたものを採用し、モデルチェンジ等があった場合は、最新で同等以上の機能を有するものを使用すること。
- (4) 製作に当たって、各工程では多角的角度から写真撮影を行うこと。
- (5) 車両納入後、消防用車両の安全基準に従い、受注者が発注者へ納車講習、安全操作技能講習及び点検整備講習を2回行うこと。また、講習指導員にかかわる費用は受注者が負担すること。(実施日は、別途指示)
- (6) 車両登録、指定する車両の抹消登録及び廃棄(資機材含む)並びに緊急自動車使用届出確認書の提出及び返納を受注者が行うこと。

仕 様 明 細 書

車体・艀装関係

項 目	仕 様
シャシー	ダブルキャブオーバーの消防車専用シャシー（ABS装置付き）とし、乗車定員は6名以上の最新年度に製造されたものとする。
寸法	車両登録時の寸法等は、次のとおりとする。
主要諸元	<ol style="list-style-type: none"> 1 全 長 6,000mm 以下 (坂道等で現行の消防車両の傾斜角と同様になるよう処理すること。) 2 全 幅 2,000mm 以下 3 全 高 3,000mm 以下 4 ホイルベース 2,740mm 以上
シャシー装備品	<ol style="list-style-type: none"> 1 ディーゼルエンジンとすること。 2 AT(自動変速)とすること。 3 四輪駆動とすること。 4 パワーステアリングとすること。 5 前席及び後部座席側方の窓は、パワーウインドウ構造とすること。 6 オルタネータは、消費電力を計算し、必要な発電量を有すること。 7 バッテリーは、必要な容量を有すること。 8 エアコンは、純正品とすること。 9 オールシーズンタイヤとすること。 10 ホイールは標準仕様（アルミホイール等）とすること。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 AM/FMラジオ、フルセグ一体型SSDナビゲーション（SSD容量16GB以上）を取り付けること。 2 大型デジタル式時計、電流計・電圧計を取り付けること。 3 サンバイザーを運転席及び助手席に取り付けること。 4 サイドバイザーを各ドアに取り付けること。 5 各ドアには、ドアエッジモールを取り付け、ドア開放時に後方からの視認性を向上させるため、反射テープ等を貼付すること。 6 フロント両側に熱線ヒーター付きリモコンミラー（電動格納ミラー）を設置し、助手席側サイドミラーには、補助ミラー並びにサイドアンダーミラーを取り付けること。 7 キャブチルト装置一式（電動）を有すること。 8 LED前照灯を取り付けること。 9 LEDフォグランプを取り付けること。 10 後退警報器（音声スイッチ式）を取り付けること。※作動要件に適合する一時停止機能付 11 車両外部を記録するドライブレコーダー（前用・後用）を取り付け、配線が目立たないように天井及びピラー内等を通すこと。電源は、アクセサリーポジションで使用できるようにすること。

	<p>12 シャシー標準の後方確認用のモニターを取り付けること。</p> <p>13 キャビン内にAC100Vのコンセント、テーブルタップ及びUSB出力端子を必要数設けること。</p> <p>14 キャビン内の助手席付近に指令書を掲示できるものを設けること。</p> <p>15 バッテリー上がり及び劣化等を防ぐため、常時全自動で充電等を行う装置を備えること。(車体側への接続はマグネットタイプ)</p> <p>16 両側のBピラーに訓練旗取付用の台座を設けること。</p>
シャシー付属品	<p>1 車両付属品一式(フロアマット、停止表示板、工具(ケース付)、ジャンプスターター12V/24V兼用を有すること。)</p> <p>2 全輪にマッドガードを取り付けること。</p> <p>3 タイヤチェーン(シングル)を有すること。(車両名入収納袋付)</p> <p>4 マグネットシート式表示板(「特別警戒実施中」と記入。)を2枚有すること。 ※「特別警戒実施中」は、車体左右後部ドアに貼り付けられるサイズであり、オレンジ地に黒文字(丸ゴシック体)で記入し、シート周囲を黒線で囲むこと。</p> <p>5 予備タイヤ(装着タイヤと同種類でホイール付)1本及びスタッドレスタイヤ・ホイール付き6本を有すること。</p> <p>6 各シートには、防水・防汚のためシートカバーを取り付けること。</p>
伝動装置	<p>動力を電磁クラッチ等により主ポンプに伝動する構造とし、これらの操作は、運転席にある切替スイッチにより行うものとする。</p>
消防ポンプ	<p>動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令(昭和61年自治省令第24号)の規定による、A-2級以上の性能を有するポンプを搭載し、ポンプは、シャシーエンジンのPTO(パワーテイクオフ)により駆動され、PTOの操作は、運転席及び左右ポンプ操作部付近に設けられたスイッチにより行うものを艤装すること。</p> <p>材質は、各装置による重量増を解消するため、本体及びインペラの軽量化を図ること。</p>
真空ポンプ	<p>1 オイルレス無給油式真空ポンプで動力の接・断は、電磁クラッチによる構造とし、歯付きベルト等によりスムーズな伝達が行えること。なお、吸水管内の空気を効果的に排出する方式とする。</p> <p>2 揚水開始から完了までの配管内状況表示、放水時の水の流れ、揚水後の落水表示(放水口開閉にかかわらず)等、状況が的確に判断できる表示盤を取り付けること。</p> <p>3 ポンプの残留水を完全に排水する以前に、放水口を開いた状態、放水口を閉じた状態でそれぞれ真空ポンプを作動させた場合、動力の伝達が円滑で、かつ揚水が行えるものであること。</p> <p>4 操作は押しボタン式スイッチによるもので、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。なお、非常用の別系統スイッチを設けること。</p>

<p>ポンプ操作装置</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ポンプ操作装置は、車体左右に取り付け、操作員が容易にかつ安全にポンプ操作が行えるようにすること。 2 圧力計・連成計（リタード式）は、振動等でも針が振れない構造とすること。 3 ポンプスロットルは、電子式スロットルとし車体の左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。 4 ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設けること。また、急激なダイヤル操作をしても、エンジンが吹き上がらないように自動でスロットル上昇操作を制御すること。 5 多目的表示液晶ディスプレイは、液晶画面 7.0 インチ以上、ワイド液晶とし、昼夜にかかわらず認識しやすいよう自動調光機能を装備し、高コントラスト比の低反射型硬質パネルとする。寒冷地での使用も鑑みた液晶ディスプレイする。 詳細は、以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 取扱表示 機器取扱、点検整備、故障対策等を文章で表示できること。 (2) モニター表示 異常があった場合直ちに警告表示ができ、かつ警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールロックの開閉状況、揚水及び水の状況確認のできるモニター表示であり、各計器は、各々デジタル表示できること。 (3) 流水表示 各ボールロックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水流の状況が確認できる流水表示ができること。 6 ディスプレイ内の各表示切替えは、タッチスイッチ式等により行えるものとする。 7 真空ポンプ操作は、非常時に手動操作にて行えるものとする。 8 液晶パネルは、最新のものとし視認性を考慮すること。 9 ポンプ操作装置には、隊員の安全を確保するため、以下の安全機能を設けること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自動調圧機能 ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は、設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧力以上になった場合は、設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ操作装置内に設けること。また、ポンプ操作装置内で圧力設定操作ができることとし、スロットル操作又はワンタッチ操作で自動調圧が解除できること。 (2) 流量計 操作盤表示の流量計については、車体の左右にかかわらず、左右の各放水口の流量が確認できること。
----------------	--

	<p>(3) 緊急減圧機能 左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は、即座にエンジン回転をアイドルまで下げ、吐出圧力を減圧する構造とすること。</p> <p>(4) スロットル固定機能 不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向(スロットルダウン)には操作できるものとする。</p> <p>(5) 警告機能 ポンプ等の不具合を早期に発見等できる機能及び DPR インジケータ機能(必要に応じて)を有すること。</p>
<p>吸水口</p>	<p>1 吸水口は、消防呼称 75 mmボールコック(ストレーナー付き)及びエルボ付 75mm を左右に各 1 個とすること。</p> <p>2 吸水管 1 本をポンプ後方に左右に引き出せる構造で、手動式巻き取り装置を取り付けること。吸水管 1 本は棒吸管とし、4～5 分割で車両屋根上アルミボックス内に収納すること。 また、短尺吸管及び短尺ホースを車両左側ポンプ室付近に収納すること。(別途指示)</p>
<p>中継口 放水口 配管</p>	<p>ポンプ室左右に各 1 個設けること。 65mm と 50mm とし、ポンプ室左右にそれぞれ設けること。 冷却水及び放水等において使用する水と接する部分は、耐食性を有する材料を使用すること。</p>
<p>消防専用 無線電話装置</p>	<p>1 受注者は、指定する車両から消防専用無線電話装置一式(AVM 含む)を取り外し、更新車両の助手席側からの操作が容易であり、運転操作の支障とならない場所に取り付けること。 また、取り付けに要する加工等もすべて行うこと。</p> <p>2 キャブ上部に無線アンテナを取り付け、無線機取り付け位置まで配線すること。また、十分な防水及び雑音防止処置を施すこと。</p> <p>3 車体両側の適当な位置に、埋め込み式外部無線通話装置(スイッチ付)を設けること。</p> <p>4 無線機用電源はバッテリーから無線機取り付け位置まで配線し、DC-DC コンバーター及び中継端子を取り付け、雑音防止処理を施すこと。また、必要な箇所にヒューズを取り付けること。</p> <p>5 各配線、アンテナ、送受信器は新規とすること。</p>
<p>キャブの艤装</p>	<p>1 キャブは、4 ドアダブルキャブとすること。</p> <p>2 キャブ上部の形状はハイルーフ仕様とし、FRP 製で軽量化を図り、赤色警光灯、スピーカー、電動サイレン、標識灯一体型とすること。 ※ハイルーフの形状及び標識灯の表記については別途協議する。</p> <p>3 キャブ後部は、キャブバック型とし、後部座席は 3 席設けて跳ね上げ式とすること。また、空気呼吸器をワンタッチで着脱可能なクイックホ</p>

	<p>ルダー式のブラケット及び面体フックを2台設けること。</p> <p>4 キャブ前部に、メンテナンス用握り等を付けること。</p> <p>5 フロントグリル上方中央部に、シャーシメーカーエンブレムを取り外し、消防章を取付けること。</p> <p>6 車体前面に赤色点滅灯を2個取り付け、フロントグリルに赤色点滅灯を4個取り付け赤色警光灯と連動すること。 スイッチはコンソールボックスに設けること。</p> <p>7 フロントグリル各部はメッキタイプ(ブラックメッキ)とし、可能であればフロントバンパーを100mm程度前方へ張り出し、十分な強度を有したステップとし、上部にアルミ縞板を張ること。 また、フロントバンパー付近に十分な強度(許容荷重2,000kg程度)を有した、バウシャックルを2個取り付けること。</p> <p>8 乗員の乗降用及び走行時に安全に必要な握り棒及び手摺等をキャブの両側に設け、全座席にワンタッチ式シートベルトを設けること。</p> <p>9 キャブ下の乗降用ステップは、ワイドなサイドステップ(アルミ縞板)を設け、昇降しやすい構造とすること。</p> <p>10 各ドアステップに、LEDタイプの足元灯を取り付け、ドアの開放と連動すること。</p> <p>11 ルームミラー・アラウンドビュー型バックモニター(バックアイカメラ含む。)一式を見やすい位置に取り付けること。(別途指示)</p> <p>12 運転席及び助手席の上部にオーバーヘッドコンソールボックス、同間にコンソールボックスを設け、適当な位置にサイレンアンプを取り付け、すべての赤色警光灯及びサイレン等を連動させること。</p> <p>13 機能集中型操作スイッチ10連(室内灯・計器灯・標識灯・ボックス灯・エンジン室内灯・右側扉開閉確認灯・左側扉開閉確認灯・ホースカー昇降状態確認灯・後部赤色点滅灯減光スイッチ・積載梯子収納確認灯等)を設け、運転席及び助手席側から操作容易な場所に取り付けること。 (別途指示)</p> <p>14 モーターサイレンは赤色警告灯内蔵型とし、作動スイッチについては運転席側と助手席側の適当な位置に各1箇所とし、誤作動防止のためカバー付きとすること。</p> <p>15 助手席側シャッター内の各操作が支障にならない適当な位置に、空気呼吸器をワンタッチで着脱可能なブラケットを1台設けること。</p> <p>16 キャブ内の前席及び後席の仕切りには、強固な握り棒及び金網並びにフックを取り付けること。(別途指示)</p> <p>17 後部座席のキャブ天井に、埋め込み型の室内灯(LED)を取り付け、ドア開放時と連動すること。スイッチは運転席側、助手席側及び後部座席の適当な位置に設けること。</p> <p>18 キャブ内の天井部に収納棚及び収納用ネットを取り付け、収納棚底面及び側面はパンチングメタル等とすること。</p>
--	--

<p>車体の形状</p>	<p>飛び出し防止策（スライドパイプ等）を設けること。</p> <p>19 後部座席の真中は、上下可動式の収納棚等を設け書類及び小物を収納できる仕様とすること。</p> <p>20 キャブ内のデッドスペースを極力なくし、収納スペースとすること。</p> <p>21 キャブ内の適当な位置のAC100Vコンセント、テーブルタップ及びUSB出力端子は、キャブ内での充電が可能な構造とすること。（電力は、最低100W以上とし、許容電力を明示すること。別途指示）</p> <p>また、車両外部の適切な位置にAC100Vコンセント（防雨型）を設けること。</p> <p>車両に設けるポンプ室及び収納部分は、片側2面、後部1面のアルミシャッター合金製バーシャッター扉式とし、車体の形状は、ボックス型で走行時の後方視認性を確保すること。（オールシャッター式）</p>
<p>車体の艤装</p>	<p>1 車体両側は腐食防止等のため、外側表面をアルミ製等とし、キャブと同等の高さまで立ち上げ（逗子仕様）、赤色点滅灯を左右各2個及び作業灯を左右各2個埋め込むこと。なお、赤色点滅灯は、赤色警光灯と連動させること。</p> <p>2 車体両側面は、ポンプ室側と側面後部収納庫に分かれた2面のシャッター式（計4面）とする。</p> <p>3 車体上部は、アルミ縞板を貼り、ラッシングベルト取付用のD環及びアルミ製収納箱を設け必要に応じ取り外しができること。（別途指示）</p> <p>4 車体上部に架台を設け、ステンレス製3連はしごを積載し、容易に取り出しができ、2以上の落下防止措置がある構造とすること。</p> <p>5 車体上部にスペースを有効活用できるよう、とび口、スコップ、掛矢等を取り付けること。※レイアウト別途指示</p> <p>6 ポンプ室とキャブとの間に仕切りを設け、キャブチルト時にポンプ室を点検できる構造とすること。</p> <p>7 車体後部にサーチライトを取り付けること。※レイアウトは別途指示</p> <p>8 車体両側ポンプ操作部に放水口（2箇所）、中継口、吸水口及び流量計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・放水圧力計（各放水口）・エゼクターバルブ及び揚水確認装置（ガラスボール）並びに表示盤等を取り付けること。</p> <p>また、LED灯を設け、夜間でも計器類等を視認できるような構造であること。</p> <p>9 ポンプ操作部付近に、引き出し式の収納棚を左右に設けること。また、収納部は引き出しレール等を用い容易に車外へ引き出せる構造とし、必要に応じ斜め引き出しを設けること。また、ポンプ操作部上方については資機材収納庫とし、運転席側は2重巻き65mmホースを立てて収納できる事とし、スライドパイプ式の落下防止措置とし、助手席側については引き出し式収納棚とし、必要に応じ斜め引き出し式とすること。</p> <p>10 両側シャッター内に取り外し可能なポール（S字フック10個付）を</p>

	<p>取り付けること。なお、ポールの強度は防火衣及び防火帽 5 式等を掛けた状態に常時耐えられるものであること。</p> <p>11 車体下部（後輪前部、後輪フェンダー部、後輪後部）に展開式ステップ兼用扉付き収納ボックスを設け、ボックス内は多目的に使用できる仕切り板等を取り付けること。また、扉裏面はアルミ縞板を貼り付け、縁に反射テープを貼り、ステップ面については高さ及び車体からの出幅をおおむね揃えること。</p> <p>12 車体中央から後部にかけて、サイドプル吸管（吸口に接続、ストレーナー及び藤かご付き）、可動式の収納棚を設け、吸管スパナ（2 個）、車輪止め（2 個）、短尺吸管、短尺ホース、ホースバッグ等の各資機材等が容易に収納、取り出しできる構造であること。また、運転席側側面の最後方は長尺物品の収納庫として指定の物品を縦に収納できるスペースを設けること。（別途指示）</p> <p>13 車体後部の適当な位置に昇降用の展開式ステップ及び昇降用の手摺を設けること。</p> <p>14 シャシー純正の車両後方確認用カメラ（保護枠付）は、車体後部上方の適当な位置に取り付け、キャブ内のバックモニターと連動させること。（別途指示）</p> <p>15 車体後部に赤色点滅灯を取り付けること。（別途指示）</p> <p>16 車体後部は上下に分割し下部にアシスト式ホースカー（本体周囲にガンタイプノズル 3 本、二股分岐管及び媒介金具 2 個を取り付けること。また、本体上部は資機材が搬送できるように枠及び固定装置を設け、容易に取り外しができること。）を収納し、2 重ロックを備え、ロック解除後は自重で降下できる動力昇降装置（非常用手動油圧装置付き）を設け、収納部周囲には、バール、ボルトクリッパー及び斧等が収納可能な構造にし、照明として LED 灯を設けること。</p> <p>また、上部は収納庫とし予備ボンベ及び消火器を収納できるよう収納装置を作成すること。</p> <p>17 車体後部両側に車幅灯と連動したマーカーランプ（LED）を設けること。</p> <p>18 車両下部の適当な位置に路肩灯（LED）を設け、車幅灯と連動して点灯させること。</p> <p>19 キャブ後部ドアの下に、バッテリーを容易に引き出して点検できるよう引き出し装置付バッテリーケースを設けること。</p> <p>20 各ボックス内収納部を有効に照射できる LED 灯を必要数設け、そのスイッチはシャッター及びボックス扉の開放時に点灯する仕様とし、主スイッチを機能集中型スイッチ（10 連）のボックス灯とすること。</p> <p>21 各ボックス内及び収納棚等にはスノコ又はゴム板を敷くこと。（別途指示）</p> <p>22 各ボックスの底面四隅にはパイプ付水抜き穴を設け、先端にビニルパ</p>
--	---

<p>塗装及び文字等</p>	<p>イプ等を接続し、車体下部まで延長すること。</p> <p>23 各ドレンバルブはコック式とすること。</p> <p>24 取付品及び積載品等を使用する際に、足場となる部分にはアルミ縞板等を貼り保護するとともに、十分な強度を有すること。</p> <p>25 車体の塗装面と積載品等が接触する部分には、アルミ又はステンレス保護板を貼ること。</p> <p>26 車体の適当な位置に全自動のバッテリーメンテナンス用ケーブル接続口を設けること。また、防水のため接続口にはカバーを取り付けるとともに、万が一ケーブルを離脱せずに発進した際にケーブルを保護するため、接続方法はマグネット式とすること。</p> <p>27 キャブ及び積載はしごの架台保護のため、キャブチルトは架台収納時又は折りたたみ時にのみ作動できるものであること。</p> <p>※ 構造上不可能な場合は、操作場所付近に注意を明示するステッカー等を貼付すること。</p> <p>28 サーチライト等を使用するために車外に電源を取り出す必要があるものには、ショートや感電防止のため十分な防水加工を行うこと。</p> <p>1 塗装部は、完全なる防錆を施した後、プライマー、パテ、サフェーサにより完全な下地防錆加工を施すこと。日塗 I D-2-145 (赤色ラッカー) 又は同等以上の塗料で塗装を行うこと。(シャッター部含む)</p> <p>また、各ステップは銀色塗装を行うこと。(アルミ縞板、ステンレス部、ホイール部除く)</p> <p>2 車両下部は、黒色及びアンダーコート仕上げをすること。</p> <p>3 収納ボックス内は、青色系に塗装すること。</p> <p>4 動力昇降装置の折り曲げ部は、黄色の反射塗装とすること。</p> <p>5 車両左右の標識灯は青色とし、「逗子1」と黒文字で記入すること。</p> <p>6 キャブドア左右に、ゴシック体で「逗子消防」とし、車体に「Z U S H I F I R E D E P T .」と白文字で記入すること。</p> <p>7 車体両側の側面上部に、「ポンプ車」と白色で記入すること。</p> <p>8 各部のデザイン、字体、サイズ及び色は担当が指定したものとし、反射材(再帰性に富んだ反射材)の貼り文字とすること。</p> <p>詳細については協議すること。</p> <p>9 機器の操作部及び収納部に収納物品名のカッティングシートを張り付けること。</p> <p>10 給油口付近に油脂類と数量の銘板を貼付けること。</p> <p>11 補助金を使用して購入した旨の貼り文字をすること。サイズ、位置等は別途指示する。</p>
----------------	--

車両取付品

No	品名	数量	内容
1	ポンプ圧力計	2	φ100 透過光照明灯付
2	ポンプ連成計(リタード式)	2	φ100 透過光照明灯付 リタード式
3	真空・揚水表示ディスプレイ	2	左右各1個 7インチ以上自動調光機能付、左右パネルスイッチ付
4	電流計・電圧計	1	
5	流量計	2	液晶画面の流量計は各メーカー標準 真空・揚水表示ディスプレイに表示 流量色分け機能付
6	積算流量計	2	真空・揚水表示ディスプレイに表示
7	放水圧力計	2	各放口
8	揚水確認装置	2	ガラスボール(車両左右)
9	サイレンアンプ	1式	大阪サイレン社製 TSK-D152 又は同等品以上
10	前部赤色点滅灯	4	WHELEN 社 M4FCR24 及び WIONBR24 又は同等品以上
11	上部赤色警光灯	1式	ハイルーフ一体型スピーカー及びモーター サイレン内蔵型
12	後部赤色点滅灯	2	WHELEN 社 M6V2CR24 又は同等品以上
13	側方赤色点滅灯	4	WHELEN 社 M7FCR24 又は同等品以上
14	作業用照明灯	4	WHELEN 社 M7ZC24 又は同等品以上
15	標識灯	2	ハイルーフと一体型両側各1個
16	路肩灯	2	LED式左右
17	足元灯	4	LED式左右
18	計器灯	必要数	LED(車体両側)
19	サーチライト	必要数	車体後部 LED式
20	室内灯	必要数	LED式
21	マップランプ	1	運転席LED式
22	ポンプ室内灯	1	LED式
23	エンジン室内灯	1	LED式
24	機能集中操作スイッチ(10連)	1	大阪サイレン社製等
25	消防章	1	150mm
26	動力昇降装置	1	ホースカー収納用
27	はしご架台	1	
28	車両後方確認モニター	1	

29	ドライブレコーダー	2	前後
30	フレキシブルマイク	1	運転席
31	後部座席シート	1 式	
32	空気呼吸器ブラケット	3	クイックホルダー アタッチメント 4 又は ベルリング社製 SmartDock
33	アルミ収納箱	1	車両上部
34	予備鍵	2	

積載品

※全ての積載品に「返子消防」と表示すること。表示困難なものは調整を図ること。

No	品名	数量	内容
1	吸管	1	8メートル以上 10メートル以下
2	吸口エルボ	1	スイベル式
3	藤かご及びストレーナー	1	ストカゴセット(ポリカゴ・フック・ポリストレーナー・カバー・ヒッパラー媒介・ガイドロープ・65 町野オス金具媒介付)又は同等品以上
4	吸管まくら木	1	ゴム製
5	吸管スパナ	2	
6	消火栓媒介金具	1	
7	吸管ロープ	2	
8	中継口ストレーナー	2	
9	中継口媒介金具	2	呼称 65 ネジメス×65 差込メス
10	放口媒介金具	4	MC スイベル 65 mm&50 mm
11	媒介金具	各 1	差込異型 (65mm×50mm、50mm×40mm、50mm×65mm) 差込雌々 (65mm×65mm、50mm×50mm) 差込雄々 (65mm×65mm、50mm×50mm)
12	消火栓開閉金具	1	スピンドル回し (FHバールを除く)、十字カギ
13	防火水槽開閉金具	各 1 式	T字型×2、L字型×2
14	棒吸管	1 式	消火栓媒介金具(ロープ離脱型)付 ※ツインスター金具不可
15	短尺吸管	1 式	消火栓媒介金具(ロープ離脱型)付 ※ツインスター金具不可
16	短尺ホース	2	消防ホース(50 mm×5 m) 差込金具は町野式
17	スタンドパイプ	1	不動タイプ
18	放水器具	各 1	クールファイターノズル(50 mm) 又は同等品以上×1 ボアテックスノズル(50 mm) 又は同等品以上×1 XNOZZLE-40A(40 mm) 又は同等品以上×1
19	剣先スコップ	3	
20	車輪止	4	ゴム製車輪止め、反射板入り
21	伸縮式三角コーン	5	
22	消火器	1	自動車用 ABC 消火器
23	コードリール	1	屋外用 30m コード付
24	発電機	1	Eu9i 又は同等品以上
25	ステンレス製 3 連はしご	1	キャスト付き

26	ホースカー	1 式	アシスト式ホースカー (クロスクイッカー又は TS-R120 同等品以上)
27	二股分岐管	1	YONE
28	ストップバルブ	1	YONE シャットオフボールバルブ
29	ホースバック	4	FSJAPAN ホースバック OFD
30	検索棒	2	SAVERS 小次郎 3
31	レスキューアックス	1	ライトレスキュー 91 cm
32	マルチプライ	1	SET 製エントリーツール 携行バッグ付 (ハンドツール収納バッグ)
33	鉄線カッター	1	小
34	防爆ハンマー	1	
35	チェーンソー	1 式	マキタ MUC254HDZR 又は同等品以上 付属品 (替刃 1 及び棒ヤスリ 1)
36	コンパクトチェーンソー	1 式	マキタ puhuo81-0056 又は同等品以上
37	エンジンカッター	1 式	マキタ CE090DZ (パワーツースキット 2 含む) 又は同等品以上
38	エンジンカッター用替刃	各 3 枚	金属用、非金属用、ダイヤモンド
39	ホースバンテージ	3	
40	グラウンドシート	3	防水グラウンドシート 3
41	電気メガホン	3	UNI-PEX 防滴型メガホン 6W
42	応急処置セット	1 式	
43	ターポリン担架	1	FSJAPAN EMS ターポリン収納袋付
44	現場活動用ベスト	4	ラジオハーネス 3、隊長ベスト 1
45	現場調査用具	1 式	FSJAPAN 火災調査用工具セット
46	クーラーボックス	1	YETI Hopper18 又は同等品以上 保冷剤付き
47	FOXFURY Nomad	1	360 Scene Light ストロボ付 8,800 ルーメン
48	画板	1	LED トレース図板
49	ホワイトボード	2	ミーティングボード
50	誘導棒	4	LED 合図灯警笛付
51	メジャー (50m)	1	ファイバークラステープ
52	ムーリングカラー・オートロール	1 式	CJP-PPAUV603
53	タイヤチェーン	1 式	購入車両 カム付き合金鋼
54	担架用ローリー	1	BARHAR BH517